

土台が大切。「その時だけ直せばいい」は危険な考え方です。

中学2年生としての生活は、あと二週間ほどとなりました。校長先生が進級を認めてくだされば、2年生の皆さんは3年生になることができます。（義務教育だから、何もしなくても自動的に進級できている人はいませんか？）

ところで、この一年間をともに過ごしてきて、2年生の皆さんにやり残しがあるのでは…と思うことがあります。

例として…、

- ・2学期終盤に「生活改善週間」を実施しました。その後、2学年の生活を改善しよう、変えようと努力してきたでしょうか。
- ・いつ面接に行っても（高等学校の先生が中学校に来られても）、相手によい印象を与えるような身だしなみになっていきますか。学校は、義務教育以外の世界でも通用するための訓練の場であり、決しておしゃれをする場所ではないはずです。
- ・大人への挨拶（または挨拶返し）、（言葉遣いを含め）失礼のない態度については、どうでしょうか。2学期終わりに確認した『分離礼』は継続されていますか。
- ・公共のものを大切に使うこと、仲間に対する言動はどうでしょうか。
- ・きまりやマナーを守ることについて、「わからなければ…」という意識が出てきたように思えるのですが、かん違いでしょうか。
- ・時間の使い方はどうですか。余裕をもって着席しているのはいいのですが、授業の準備もせずおしゃべりに興じている人が見受けられます。余裕をもった行動と、その後の時間の使い方をもう少し、考えたいものです。時間も、バスも、地下鉄も学校も、就職先も、あなたの都合に合わせてはくれません。



そして、現在、何よりも心配なのは、「（出席停止を除く）欠席の多さ」と言ってもいいでしょう。欠席が多い人よりも少ない人の方が有利…という話を聞いたことはありませんか。これはある意味、本当のことです。「休みたくて休んでいるわけではありません。」「事情があって欠席しているんです。」という気持ちを理解しているつもりではありますが、まずは下の文章を読んでみてください。

以前、高等学校の先生とお会いした時に、「（どのような欠席理由であったとしても）欠席の多い生徒さんが本校に入学したとして、進級や卒業まで頑張ることができるのだろうかと思ってしまいます。」というお話をうかがった事があります。高等学校は義務教育ではありませんから、欠席が多ければ進級や卒業にかかわってきます。また、高等学校によっては「遅刻3回で欠席1日としてカウントされる」ところもあります。

決して、気軽に休んでいるわけではないと思います。また、「少しぐらいの体調不良なら、はってでも登校しなさい。」と言うつもりもありません。

しかし、（悪いのですが）「休んでいたからしなくても（わからなくても・提出しなくても）いいでしょう！」にはならないのです。欠席したことで「わかることもわからなくなる」「取り戻した方がいいことなのに取り戻せなくなる」ことがある、これは、肝に銘じてほしいです。欠席をできるだけ減らし、「自分の体調は自分で



管理する」「ちょっとやそっとではへこたれない、強い意思をもつ」ことも、中学生の仕事の一部です。世の中に出て通用するための土台作りをする期間が義務教育の期間であり、「その時になったらきちんとすればいい」は、一番危険な考え方ではないでしょうか。

あなたの人生です。ご家族に頼ったり任せたりすることなく、自分で切り拓（ひら）いて行きましょう。

廊下のワックスがけをしてくださいました

11日（土）・12日（日）の2日間で、廊下と階段のワックスがけが行われました。主に卒業式に向けてですが、3年生になったら2階で生活をする皆さんのためでもあります。校内をきれいに保つよう、気を遣ってほしいと思います。